

衆議院青少年問題に関する特別委員会ニュース

平成 24.8.6 第 180 回国会第 5 号

8月6日(月) 第5回の委員会が開かれました。

1 青少年問題に関する件(いじめ問題)

- ・参考人から意見を聴取し、質疑を行いました。

(参考人) 花園大学客員教授

水谷 修君

PHP総研教育マネジメント研究センター長

亀田 徹君

NPO法人ジェントルハートプロジェクト理事

小森 美登里君

(質疑者及び主な質疑内容)

竹田光明君(民主)

- ・児童・生徒の自殺者数について、警察庁調査よりも文部科学省調査の方がかなり少ない人数となっている。これは文部科学省の隠蔽体質の表れではないかと考えるが、各参考人の見解を伺いたい。
- ・学校にいじめを専門に担当する教員を配置するべきと考えるが、水谷参考人の見解を伺いたい。
- ・いじめの加害者に対するケアについて、小森参考人はどう考えるか。

馳浩君(自民)

- ・教育委員会を首長部局に所属させるべきであるとの考えに対する亀田参考人の見解を伺いたい。
- ・市町村に、いじめ問題等に関する第三者機関を設置し、その原因等に関する調査を行う仕組みを導入するとの考えに対する小森参考人の見解を伺いたい。
- ・暴行や恐喝等の刑法に抵触するいじめ事案に対応するため、学校単位で警察官や弁護士を配置するとの考えに対する水谷参考人の見解を伺いたい。

小林正枝君(生活)

- ・中野富士見中学校のいじめ自殺事案における「葬式ごっこはいじめではなく、ひとつのエピソードとみるべきである」との平成3年の東京地裁の判決について、各参考人の見解を伺いたい。
- ・いじめの根絶に何が必要と考えるか。また、当委員会に対し何か要望があれば水谷参考人及び亀田参考人に伺いたい。
- ・ジェントルハートプロジェクトの講演活動の中で子どもたちの反応等から得られた経験や、今後取り組もうと考える活動について、小森参考人に伺いたい。

高木美智代君(公明)

- ・いじめの本質をどう捉えているか、各参考人に伺いたい。
- ・団塊の世代が退職し、新任の教員が増えたことにより、これまで蓄積されてきたいじめに対するノウハウが継承されていないと考えるが、水谷参考人の見解を伺いたい。
- ・フリースクールに対する法整備が必要と考えるが、亀田参考人の見解を伺いたい。

宮本岳志君(共産)

- ・いじめによる子どもの自殺のたびに学校関係者による隠蔽が問題となることについて、遺族としての小森参考人の見解を伺いたい。
- ・いじめの認知件数が学校や教師の評価につながるというシステムを見直す必要があると考えるが、文部科学省在籍時に北海道の滝川市のいじめ自殺事案を担当した亀田参考人の見解を伺いたい。
- ・年々悪化しているといわれる子どもを取り巻く環境に対する水谷参考人及び小森参考人の見解を伺いたい。

吉泉秀男君(社民)

- ・親や教員がいじめに気付いた場合の対処方法について、水谷参考人の見解を伺いたい。
- ・「いじめは犯罪である」と認識をした上で、心の教育を行うことを学校教育のカリキュラムに入れるべきであるとするが、各参考人の見解を伺いたい。
- ・いじめが発生した場合に、連帯責任による集団的処罰という対応は有効であるのか、水谷参考人に伺いたい。

2 理事の補欠選任

- ・理事の補欠選任を行いました。

理事 池 坊 保 子君（公明）（理事池坊保子君今6日委員辞任につきその補欠）